

山口県感染症発生週報 (第10週:平成24年3月5日～3月11日)

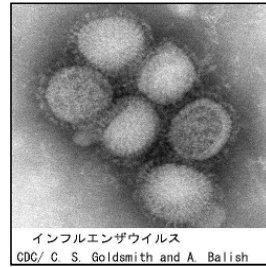
1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆**結核**: 第9週追加:13例(下関2例、岩国8例、周南1例、山口2例)。第10週:10例(下関2例、岩国6例、防府1例、長門1例)。

【5類感染症】

◆**劇症型溶血性レンサ球菌感染症**: 第10週:1例(周南)。



2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

◆**インフルエンザ**: 患者報告数は5週連続して減少し、今週警報レベルの終息基準値を下回りました。地域別でも、先週の防府につづき、今週は岩国、山口、萩が警報レベルの終息基準値を下回りました。迅速検査では、A型陽性547例、B型陽性65例、A型B型陽性1例、臨床診断49例でした。また当所で、第9～10週の検体についてPCR検査を行った結果、AH3(香港型)が2例、B型が2例検出されています。【警報レベル=下関(7週目)、長門(8週目)、柳井(8週目)、周南(11週目)】【注意報レベル=宇部(8週目)】※

◆**RSウイルス感染症**: 一旦減少していましたが、3週連続して増加しています。特に長門、下関は他地域と比較して多くみられます。

◆**伝染性紅斑**: 周南は警報レベルが続いています。【警報レベル=周南(8週目)】※

◆**流行性耳下腺炎**: 長門は警報レベルが続いています。【警報レベル=長門(14週目)】※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。

(2)週別発生状況

疾患名	8週	9週	10週	疾患名	8週	9週	10週
インフルエンザ	1723	1117	662	百日咳	0	0	1
RSウイルス感染症	46	62	70	ヘルパンギーナ	0	0	3
咽頭結膜熱	8	14	14	流行性耳下腺炎	26	48	33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	133	159	133	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	385	481	522	流行性角結膜炎	2	8	12
水痘	75	65	70	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	5	0	0	細菌性髄膜炎	1	0	0
伝染性紅斑	23	16	20	マイコプラズマ肺炎	11	10	4
突発性発しん	30	37	33	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	173	66	57	112	32	29	134	35	24	662
RSウイルス感染症	30	3	1	4	1	3	7	17	4	70
咽頭結膜熱	2	2	0	6	2	1	1	0	0	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	31	15	11	35	3	15	8	9	6	133
感染性胃腸炎	102	66	6	103	27	84	95	24	15	522
水痘	22	2	8	9	2	18	8	1	0	70
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	1	1	2	13	0	2	1	0	0	20
突発性発しん	11	2	4	6	0	7	3	0	0	33
百日咳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	1	0	2	0	0	3
流行性耳下腺炎	5	2	1	8	1	0	1	15	0	33
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	0	3	2	0	6	0	0	0	12
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	2	0	1	0	0	1	0	0	4
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 その他

・ロタウイルスによる胃腸炎の報告がやや多い状況です。例年4月頃に多くなっていますので、注意が必要です。